

立志の道



2019. 10. 24 NO.16

発行責任者 校長 小池雅美

甲陵中・高への通学者が近道として利用する立志の道。
校訓「立志躬行」の実現への道のりを、中学校の教育活動の様子を通して、随時お伝えしていきます。

芸術鑑賞教室『からくり儀右衛門』を鑑賞して……



PTA 教養部が運営して下さった今年度の芸術鑑賞教室（10月17日）は、文化庁の「文化芸術による子ども育成総合事業」の巡回公演として行われた演劇『からくり儀右衛門～日本のエジソン・技術で明治維新を創った男』（演劇集団ワンダーランド）でした。江戸時代末期に実在した田中儀右衛門という人物が、様々な歴史上の人物（大塩平八郎や大隈重信など）との交流

しながら成長し、やがて日本のモノづくりのルーツと呼ばれるまでになった姿を描いたお話でした。儀右衛門は周りが無理だ、絶対できないと言うことでも「頭に思い描くことができるモノは絶対に作ることができる」と言って、モノづくりに没頭します。どんなモノでも最初に作った人間がいたわけで、考える力や諦



めない気持ちがそれを支えていたのだと教えられました。

また、今回は3年生6名が劇に参加してくれました。短い練習にも関わらず、上手く劇に馴染んでいて楽しませてもらいました。生徒の皆さんも12月に行われる文化発表会では、この日のプロの表現力を参考にさらに進化した演技を見せて欲しいと思います。教養部の役員の方、参観された保護者の皆さま本当にありがとうございました。



3年生の思春期講座での大切なお話

10月17日、芸術鑑賞教室の午前中には、3年生を対象にした思春期講座が行われました。山梨大学医学部社会医学講座に所属されている山田七重先生に講師になっていただき、エイズは、決して関係ない病気ではないし、現在発症を遅らせる治療ができる病気であることなど、新しい情報を元に医学的に解説して下さいました。また、10代の性に関する悩みは誰でも直面することであり、どんな時でも自分を大切にしたい、とのメッセージを送ってくれました。今、自分を嫌いだと言う人も多い中、もっと良い自分になろうとする気持ちが働くからそのように感じるの、そのような気持ちは思春期独特のものであるとのお話にも、勇気づけられた人も多いのではないのでしょうか。



しなやかな心の育成講演会 その2

9月にも行われた、「しなやかな心の育成講演会」ですが、10月21日には、第2弾として東京福祉大学准教授の深沢和彦先生を講師にお迎えして、「中学生のための教育心理学～自分の心に気づく～」というタイトルで講演会を開きました。思春期には、自分の価値観に沿って行動したい「心理的離乳」の現象が起こりやすくなり、イライラしたり、友達と比較して優越感や劣等感を持つ、現実と理想のギャップに悩んだりすることは当たり前だ、というお話から始まりました。そしてストレスへの対処の方法について「ストレスの原因に対する捉え方や考え方を前向きに変える」「気晴らしや相談して発散させる」など具体的な手段を教えてくださいました。また、前向きに生きる方法として、まず「いつできるか、できる方法も人によって違うということ」を大前提として、「自分にもできる!」と思えることや高い目標(どのように生きていきたいか)とそこに至るまでの見通しを持てるかが大切であることを学びました。そして、そのように生きるためにはIQのように測れる力だけでなく、測れない力(非認知能力)をつけることが大切だということでした。非認知能力とは「目標に向かって頑張る力」「人と上手に関わる力」「感情のコントロールができる力」などであり、この力は、自分でやってみる体験や、結果ではなく挑戦する姿やプロセスを認めてもらう体験によって伸びていくとのことでした。日頃悩み多い中学生ですが、このような機会に自分の心を客観的にみつめ、ポジティブに物事を考えられるようになると良いですね。参加して下さった保護者の皆さまもありがとうございました。



支部新人大会、英語暗唱大会、それぞれ頑張りました。

10月10日、峡北支部総合新人体育大会が、各会場で行われました。この日は秋晴れとなり、良いコンディションで大会を開催することができました。中でもテニス部は、女子団体で長坂中に勝ち、準優勝という素晴らしい結果でした。女子個人でもシングルスで半田果歩さん準優勝、津金羽耶さん3位、ダブルスで三井和美さん、小林ゆいさんペアが4位となりました。男子もシングルスで前田遙人さんが3位、ダブルスで雨宮大空さん、酒井崇太さんペアが優勝、河野航士さん、河西晃希さんペアが準優勝となり、多くの選手が県大会に出場できることになりました。



卓球では、団体、個人で勝利はならなかったものの交流戦では多くの選手が勝つことができ、次の県大会に向けて気持ちが入ってきました。バスケットも男女とも勝つことはできませんでしたが、精一杯のプレーを見せて、次につなげることができたと思います。これから冬が近づくと下校時間が早まり、練習時間がとれなくなる季節が来ます。短い時間を有効に使い、体力をつけることが大事になりますね。また、



10月17日は、北巨摩支部英語暗唱大会が行われました。この日出場した3年坂口帆南さん、2年落合華子さんは、ともに11人中2位という素晴らしい成績でした。2人とも自分の中でとても良いものを出せた、と報告してくれました。長い間の取り組みは大変だったと思います。本当にお疲れさまでした! ローラ先生にもお世話になりました。

